

講義名	中小商業論			授業形態	
担当教員	中川 万喜子	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

本講義のテーマ：中小商業が流通において果たす役割についての理解
人びとの目は華やかな大規模小売業に向きがちであるが、中小小売商業が果たす役割は多様であり、その存在は極めて重要である。商業の世界の奥深さに気づいてもらいたい。

到達目標

1. 流通の仕組みについて理解できるようになる
2. 流通・商業に関するデータからその意味することを読み取れるようになる（情報分析力）
3. 授業から情報を読み取る力をもつことができる（情報収集力）
4. 中小商業の存在意義を具体的に確かめることができる（課題発見力）

提出課題

授業内容を深く理解するために、各自で学外の商店街見学に向いてもらい、レポートを作成してもらいます。（1000字以上）
中間期にE5ツール等で提出してもらいます。提出時期、様式については、授業内でお知らせします。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

個別でのフィードバックは行いません。授業の中でいくつか紹介していきます。

評価の基準

1. 授業内のコメントシート、授業への参加態度（20%）
2. 中間レポート（20%）
授業内容を深く理解するために、各自で学外の商店街見学に向いてもらい、レポートを作成してもらいます。（1000字以上）
中間期にE5ツール等で提出してもらいます。提出時期、様式については、授業内でお知らせします。
3. 期末定期試験（60%）
授業で学修した中小商業に関する知識を問います。

履修にあたっての注意・助言他

中小小売商業は、私たちの生活に密着した商品の提供を行っています。また、中小小売商業の中には、様々な地域の資源を活用して事業を行っているお店が多く存在しています。そのような中小小売商業に積極的に参画する機会をつくってください。これらの自ら得た情報が授業で学んだこととつながり、中小小売商業を身近にし、より深く理解できるようになります。
授業参加を重視した科目です。集中して授業を受けるためにも、他の受講生の迷惑となる行為（私語、不必要な入室）は厳禁です。厳しく対処します。

教科書

.小売業起点のまちづくり.	石原武政・渡辺達朗編著	碩学舎	3080	978450225751

参考図書

.流通と商業データブックー理論と現象から考える.	東伸一・三村優美子他編	有斐閣	4620	978464116599
.大型店の立地再編と地域商業・出店規制の推移を軸に.	安倉良二著	海青社	4290	978486099349

その他

講義資料は、ポータル等を通じて配布します。

授業計画

- 回 テーマ
1. ガイダンスとイントロダクション（中小商業とは何か？）
 2. まちを支えてきた中小商業
 3. 総合スーパーの成長と中小商業
 4. ショッピングセンターと都市
 5. 大型店出店規制の推移
 6. まちづくりと行政の役割
 7. まちづくりと中小商業
 8. ネット通販があれはいい？新業態の登場
 9. 高齢者と中小商業（買い物難民問題について）
 10. 高齢者・子育て世代にやさしい中小商業
 11. まちの資源としての中小商業
 12. 観光と中小商業
 13. 中小商業とまちづくりの主体（事業を支える仕組み）
 14. 中小商業と多様化する主体との連携
 15. 全体のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：各自に指定するテキストの範囲を熟読し、要点をまとめておくこと（2時間程度）
復習：授業中のキーワードを見つけて出しまとめておくこと（期末定期試験対策としても有効です）（1時間程度）
授業で取り上げた事例等に関して、各自インターネット等で検索し、特徴をまとめること（1時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

中小商業とは何か、また、中小商業を取り巻く動向や課題などを理解するための基礎知識を身につけ、流通の世界における中小商業の位置づけ、その変化、その役割が理解できる。これらをもとに、流通・小売業界に関する問題探求と課題について自ら提案できる。
中小小売商業が現代日本が抱える課題（例えば高齢者問題やまちづくり）へ向き合うことを通じて、新しい視点と豊かな発想から新しい価値を生み出しうることに基づき、新たに中小小売商業の価値を自ら定義することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考